

# 1997年度 【平成9年度】

■組合員	12万0628人
■供給高	230億1312万円
■出資金	32億3315万円
■職員数	369人

- 4/       ハウジング事業スタート
- 4/3      コープ首里「ごみ減量推進事業所」で那覇市から表彰
- 5/25     第22回通常総代会
- 6/16     上期組合員のつどい（～27）
- 6/23     「6・23 平和行進」に80人参加
- 8/1      虹のホームステイ沖縄編（～4）
- 8/25     金融口座引き落としスタート  
          個配事業を実験的に導入
- 9/       初めて酒免許を取得（コープ美里）
- 11/      あっぷるメイト那覇支所で運用開始
- 11/8     那覇市主催「環境フェア」へ参加
- 11/9     那覇Bブロック主催「あいあいまつり」開催
- 11/22    中部・沖縄ブロック主催「生協あっぷるまつり」
- 11/30    北部ブロック主催「フリーマーケット」開催
- 12/      コープ個配あっぷるメイト実験導入
- 1/       「ユニセフ親子募金・ベトナム教育支援プロジェクト支援募金」に取り組む（395万円）
- 1/26     下期組合員のつどい開催（～2/21）
- 3/27     少年少女ヒロシマの旅（～29）
- 3/27     虹のホームステイ長野編  
          アメリカ合衆国が実施した二度にわたる「臨界前核実験」に対し、理事会で抗議声明を決議、抗議文を送付

## ■ハウジング事業開始

ハウジング事業が4月にスタートし、利用高が1億3000万円となり、組合員の「住まい」に関する事業基盤づくりをすすめてきました。浦添市、宜野湾市を中心に事業を開始したハウジング事業は、7月から事業エリアを那覇市、沖縄市、北谷町、嘉手納町、読谷村まで拡大して、より多くの組合員が利用できるようになりました。

組合員のつどいやブロック委員会、運営委員会で「網戸張替え教室」や「白ありの話」など、くらしに役立つ情報の提供と、組合員の要望の聞き取りを行いました。



## ■あっぷるメイト運用開始

11月、共同購入事業では女性の共同購入担当者やあっぷるメイト（※）を配置し、女性労働者の活躍の場を広げました。

※あっぷるメイト

個人配達のスタッフ。組合員の中から配達する方を募り、個配を希望する組合員のお宅へ配達してもらう。

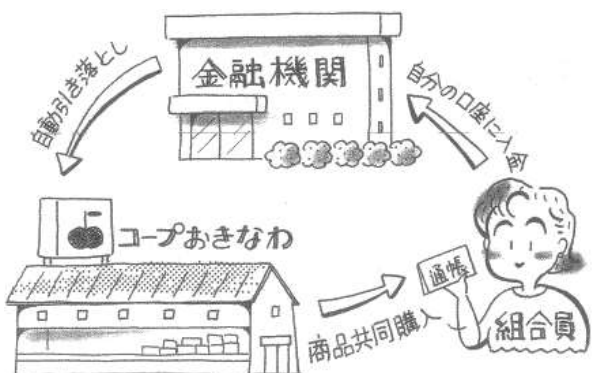
## ■コープ首里 「ごみ減量推進事業所」表彰

コープ首里が那覇市より、リサイクル型社会の建設を推進するためにごみ減量及び環境問題に寄与している事業所として表彰されました。店舗で行ってきた空き缶、牛乳パック、レジ袋削減（マイバック）運動などが認められたということは、本当にうれしいことでした。



## ■金融口座引き落とし開始

共同購入システムの改革に向けて、8月から金融口座自動引き落としのシステムを全県に導入しました。口座振替の登録率は、共同購入を利用している組合員の40.2%（3月1週現在）となり、班全員が登録した班は23.7%となりました。



## ■酒免許取得（コープ美里）

9月、組合員の要望に応え、長年にわたって取得を目指してきたお酒の小売販売免許をコープ美里で取得し、店内でお酒の販売ができるようになりました。



店内の様子

# 1998年度 【平成10年度】

■組合員	12万8189人
■供給高	234億4720万円
■出資金	33億8974万円
■職員数	362人

- 4/13 地域別総代会議（～24）
- 5/17 普天間基地包囲行動、組合員・役職員含め320人参加
- 5/25 第23回通常総代会
- 6/12 コープ首里で酒の販売開始
- 6/ 喜劇「めんそ〜れ沖縄」を全国上演に先駆けて県内上演、2227名観劇（5回公演）
- 6/23 沖縄戦体験者の証言をまとめた『いくさせーを生きぬいて』を発売
- 6/23 6・23 平和行進、100人参加
- 8/1 「消費税に抗議する5%値引きセール」実施
- 8/4 ヒロシマ行動（～6）
- 8/7 ナガサキ行動（～9）
- 9/7 上期組合員のつどい（～10/9）
- 11/15 秋のおさそいキャンペーン（～20）
- 11/29 那覇Bブロック主催「あいあいまつり」開催
- 12/21 コープ全店舗で5%引きセールと消費税引き下げ署名活動
- 1/ ユニセフ・ベトナム教育支援、お年玉募金
- 2/3 イラク攻撃に対し、理事会が抗議声明
- 2/4 5号店「コープ牧港」オープン
- 2/6 コープ全店で「消費税引き下げ署名」実施
- 2/6 消費税引き下げの150台トラックパレード実施  
少年少女ヒロシマの旅

## ■喜劇「めんそ〜れ沖縄」上演

6月12日～15日の4日間で上演した喜劇「めんそ〜れ沖縄」は、合計で2200人の方が観劇し、大成功で終了しました。組合員自身が沖縄の現状や歴史、文化について考えるきっかけになりました。



## ■沖縄戦体験証言集

### 『いくさせーを生きぬいて』出版

沖縄戦証言集『いくさせーを生きぬいて—語り伝えによる沖縄戦—』を発行し、組合員や全国の生協に広めてきました。



## ■消費税引き下げ トラックパレード

消費税率引き下げを求める運動を、実行委員会を結成して行いました。学習講演会や各店舗での5%引きセール、トラックへの消費税率引き下げを求める横断幕を掲示するなどして、県民にアピールしました。



## ■5号店コープ牧港オープン

1999年2月に多くの組合員・職員に支えられて「コープ牧港」のオープンを成功させることができました。オープンセール3日間の来店組合員数は、計画の4200人を超える6195人となり、供給高も大幅に計画を上回りました。



## ■産直やんばる赤たまご

食の安全を守るために、飼料の安全性にこだわった「産直やんばる赤たまご」の開発をすすめました。飼料主原料には県内で初めて収穫後農薬を使用せず（PHF＝ポストハーベストフリー）、遺伝子組み替えをしていない「ノンGMOコーン」を配合しています。



## ■託児制度 優遊くらぶ

組合員が活動に参加しやすい環境づくりのため、各ブロックに託児制度（優遊くらぶ）を設置しました。

# 1999年度 【平成11年度】

■組合員	13万4506人
■供給高	245億7039万円
■出資金	35億8754万円
■職員数	364人

- 5/7 地域別総代会議（～17）
- 5/31 第24回通常総代会
- 6/23 6・23 平和行進に123人が参加
- 8/4 ヒロシマ行動、12人の組合員が参加（～6）
- 8/7 ナガサキ行動、11人の組合員が参加（～9）
- 10/5 全店でマイバッグの呼びかけ
- 10/19 コープ直営の「コープのお酒屋さん」オープン
- 10/ 組合員の声に応じてカタログ発行
- 10/ 共済加入者が3万人達成
- 12/11 宮古事業所移転オープン
- 12/11 「コープ朝採り産直青果物」取り扱い始まる
- 1/ ユニセフ募金
- 1/30 宮古ブロックまつり
- 2/7 下期組合員のつどい（～25）
- 2/9 生協フォーラムinオキナワ
- 2/12 八重山ブロック戦跡ウォッチング（～13）
- 2/17 2000フォーラムくらしに3人派遣
- 3/5 浦添・宜野湾ブロック「りんごまつり」開催
- 3/25 コープ美里フリーマーケット
- 3/27 「食べてしゃべって楽しいコープ商品交流会」開催
- 3/ 「虹のかけはし」3週間回答100%

## ■組合員の声に応じて カタログ発行

8月4週「声のカタログ」を発行しました。組合員から「あの商品を企画して！」のご要望商品を「声のカタログ」にまとめました。食品や雑貨など約50点、どれも「これじゃなきゃダメ」という組合員おすすめの商品ばかりです！



## ■宮古事業所移転オープン

12月、これまでの事業所が手狭になったため、新しく平良市東仲宗根に開所しました。いままではなかった会議室や休憩室も設置されました。宮古の生協活動は、1989年7月5日に「生協を広げる会」が22人でスタート。1992年には宮古事業所が開所し、1994年には伊良部町への配達が始まりました。1999年1月1日現在約3000人に増え、事業額も4億円を超えました。



---

## ■ 定時職員による配達を 本島全事業所で導入

個配事業が本島全域に広がり、あっぴるメイト方式から定時職員による配達へと切り替えがすすみました。

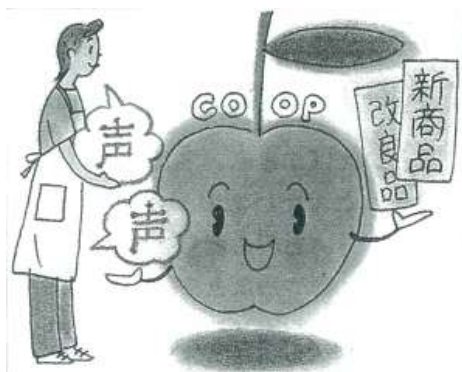


### 定時職員紛するサンタクロース

12月24日の配達日、コープのトラックからサンタさんが下りてきた！？

## ■ 虹のかけはし回答100%

組合員の声を「聴き、応える」ことを最重点に取り組みました。1年間に受け付けた組合員の声カード（虹のかけはし）を100%返すことができました。寄せられた声で商品の改善や企画も行われ、組合員の要望カタログ「声に応えて」も毎月1回、発行されるようになりました。



## 2000年度 【平成12年度】

■組合員	13万9025人
■供給高	229億8588万円
■出資金	37億3651万円
■職員数	352人

- 5/8 ブロック別総代会議（～17）
- 5/30 第25回通常総代会
- 6/23 6・23 平和行進に120人の親子が参加
- 6月 生協フォーラム in おきなわ開催、45 生協  
750人の生協の仲間が集まった
- 7/20 沖縄サミットを前に嘉手納基地包囲行動
- 8/4 ヒロシマ行動へ1人派遣
- 8/7 ナガサキ行動へ1人派遣
- 8/15 コープ牛乳異臭問題
- 9/4 上期組合員のつどい（～11/3）
- 10/ 統一カタログに変更
- 11/6 運営委員長交流会開催
- 11/ 「食品衛生法」改正署名に10万人余が署名
- 12/19 夜間電話注文センター、受付開始
- 1/1 コープ全店舗初の元旦営業
- 1/22 ホームページ開設
- 2/26 春の仲間づくりキャンペーン（～4/7）
- 2/29 コープおきなわ創立25周年
- 3/5 那覇A・Bブロック合同組合員交流会
- 3/25 虹のホームステイ長野編  
コープ受け取りステーション設置

### ■生協フォーラム in おきなわ開催

沖縄県生協連や全国の生協と協力して「生協平和フォーラム in おきなわ」を開催し、45生協から753人が参加、平和を愛する心を全国に発信しました。



会場の読谷村文化センターは、全国から寄せられた4000枚以上の黄色いハンカチで彩られました



## ■コープ牛乳異臭問題

8月に発生した「カルキ臭、消毒臭がする」とのお申し出などによる「コープ牛乳異臭問題」は、生協の商品に対する信頼を根底から揺るがしました。利用された1万人の方へ連絡を行い、体調不良を訴えた方は133人になりました。「さすが対応が早いね」と評価する声がある一方、「生協だけは信頼していたのに」との声も寄せられました。

その後の調査では、塩素や食中毒菌などは検出されず、8月30日には供給を再開しました。

9月26日には生産者・組合員らが集まり「コープ牛乳改善報告交流会」がひらかれました。



## ■夜間電話注文センター受付開始

「夜間電話注文センター」や「コープ受け取りステーション」の設置など、より利用しやすい共同購入のしくみづくりをすすめました。



## ■「食品衛生法」改正署名に10万人余署名

11月7日から始まった請願署名が、沖縄県の目標10万名を超え、11月23日時点で10万139名まで集まりました。2001年度の通常国会に提出し、食品衛生法の改正を請願しました。



## ■コープ全店初の元日営業

組合員から要望の多かった「元日営業」を実施しました。

## ■「循環型エコ野菜」の取り組み

コープ各店から出る生ゴミを、農業生産法人「あらぐさ」さんと有機肥料「つちカエル」に変え、その肥料で育てた有機野菜をコープ各店で販売するという、「循環型エコ野菜」の取り組みが始まりました。新鮮な有機野菜は店頭でも人気で、循環型社会の重要なモデルとして注目されました。



## 2001年度 【平成13年度】

- 組合員 14万1627人
- 供給高 224億8918万円
- 出資金 38億0816万円
- 職員数 343人

- 6/11 第26回通常総代会
- 6/23 6・23 平和行進 150人余の家族が参加
- 7/19 店舗の夜間10時までの営業時間延長
- 8/2 虹のホームステイ in 沖縄（～5）
- 8/4 ヒロシマ行動（～6）
- 8/7 ナガサキ行動（～9）
- 8/ 障害者雇用促進で表彰
- 9/ 米同時多発テロ発生。基地を抱える県民のくらしに影響を与える
- 10/ 「声のカタログ」開始
- 11/6 久米島への配達を業者委託に変更
- 12/ 返品手数料の撤廃
- 12/ 全国の生協と取り組んだ食品衛生法改正請願国会採択  
新共同購入システム稼働  
個人配達手数料の値下げ
- 3/ 社会問題となった商品偽装問題はコープ取扱商品にも及び

### ■店舗の夜間営業時間延長

「夜10時までお店を開けてほしい」という声にこたえて7月より延長しました。



### ■個人配達をもっと利用しやすく

「利用1回あたり400円×利用回数」の注文手数料が、2月からは、「月固定手数料200円＋（利用1回あたり200円×利用回数）」にしました。利用するほどよりお得になりました。

また、12月からは協同購入の返品手数料が廃止されました。

利用手数料

利用回数	これまで	2月から	
月1回	400円	400円	—
月2回	800円	600円	200円お得
月3回	1200円	800円	400円お得
月4回	1600円	1000円	600円お得
月5回	2000円	1200円	800円お得

## ■クリスマスケーキ 「ドリームキャンバス」の開発

「甘さ控えめのケーキがほしいね」という声から始まった開発委員会。自分たちの想い、組合員の想いを実現しようと、アンケートをもとに開発に取り組みました。試食を重ね、大人も子どもも楽しめ、自分で飾りつけできるこだわりのケーキが生まれました。



開発委員の皆さん。「クリスマスには夢と楽しさを召し上げれ！」

## ■声のカタログ

「目が不自由なので共同購入カタログテープがあるといいけれど」という声が寄せられ、この思いに応えたいと、職員が自主的にテープを作っていました。その後「パソコンで文字を読み上げるソフトがある」と判明。共同購入事業として「声のカタログ」を作ることになりました。